

# 愛隣館研修センターニュース

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 Tel:075-621-3849 Fax:075-621-1579

E-mail:airinday@sunny.ocn.ne.jp http://www.airinkan.net 振替:01020-5-39321

編集発行所:社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者:平田 義

## 100号

愛隣館研修センターニュースが100号を迎えました。

1985年10月に第1号を発行してから32年。ついに100号を発行するに至りました。これも、皆様方のご支援ご協力の賜物だと感じております。ありがとうございます。

愛隣館研修センターニュースの発刊当時の目的の一つは、愛隣館研修センターのことを住民の皆様にご存知いただくことでありました。ニュースの内容も、センターの活動紹介やセンターで行われた行事などの報告などが記事の中心であったと思います。その後、地域の皆様にとって有用な情報もお伝えしていきたいと、様々な情報の提供も行ってきました。

現在は、法人のミッションである「いのちが大切にされる社会をつくりだす」「違いを認めあえる社会をつくりだす」「隣り人と共に生きる社会をつくりだす」「自然を大切にされる社会をつくりだす」「平和をつくりだす」を意識しながら、今の社会にある様々な課題についての私たちの思いを積極的に発信していき、「社会をつくりだす」ために共に考えてもらえる機

会となるような特集を組んでいます。

昨今の日本の状況は、いのちが蔑ろにされ、多様性が排除され、一人一人の人権が蹂躪される憂慮すべき事態に陥っているように思えます。優生思想が蔓延り、重い障がいのある方々のいのちが「生きるに値しない命」として奪われ、マイノリティに対するヘイトスピーチやヘイトクライムが引き起こされ、「安保関連法案」、「共謀罪」の成立、沖縄の新基地建設の強行、憲法「改悪」への動きなど、平和と民主主義が脅かされる状況にあるといえるでしょう。このような社会状況を変革し、誰もが排除されることのないインクルーシブな社会をつくりだしていくために、センターニュースを通して、今、伝えるべきメッセージを発信し続けていく所存です。

今後とも、センターニュースをご愛顧くださり、忌憚ないご意見を頂戴できましたらありがたいです。

愛隣館研修センターニュース 発行責任者

平田 義



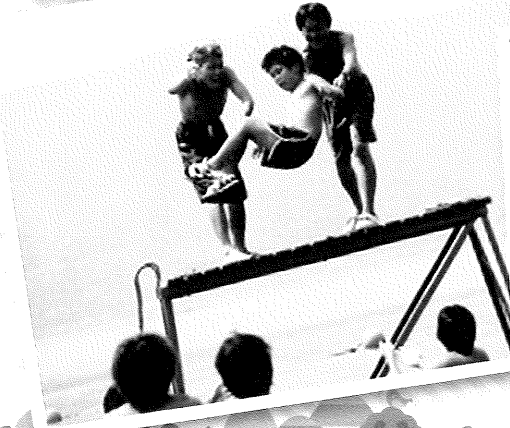
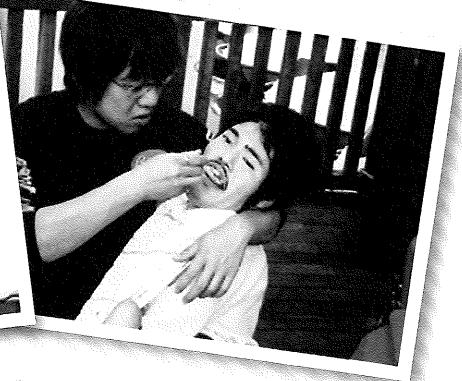
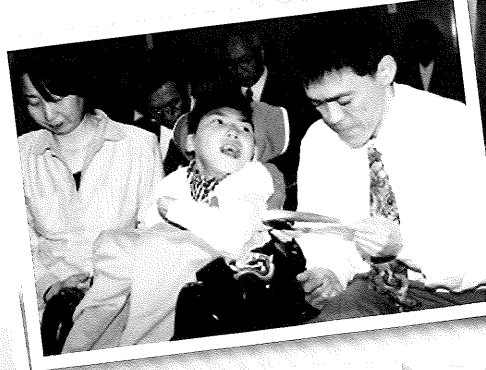
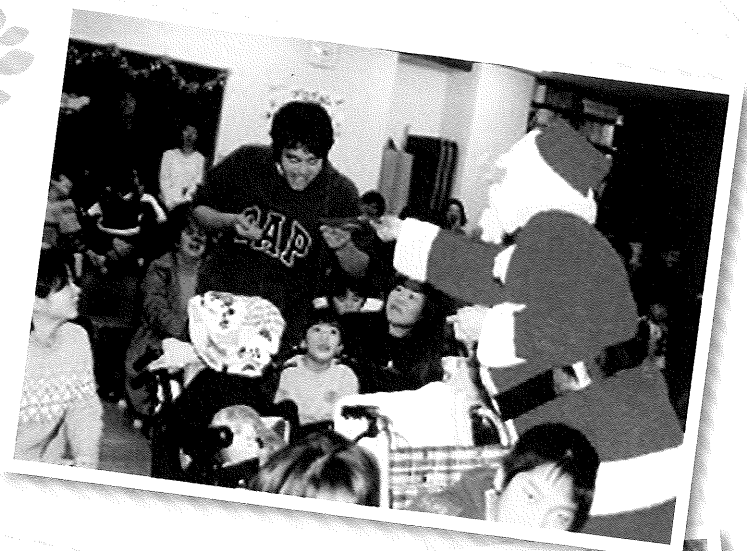
# センターニュース 発行月と主な出来事

参考：「京都発！ニュータウンの「夢」建ておします 向島からの挑戦」（杉本皇子・小林大祐・西川裕子 昭和堂）/ 読売新聞 2017年6月10日発行記事

発行年	発行号	センターニュースタイトル	向島の出来事	主な出来事
1985年～2000年	1	はじめましてセンターニュース創刊 (1985.10)	・市立向島図書館開設 (1986.3)	・阪神タイガースが初の日本シリーズ制覇 (1985.11)
	5	いとし子と共に育むあそぼう会 (1986.10)	・二ノ丸小学校開校 (1986.4)	・チェルノブイリ原発事故 (1986.4)
	8	センターってどんなどこ? (地域の弱い立場にある人と共に) (1987.7)	・11 街区建設工事着工 (1987.2)	・ベルリンの壁崩壊 (1989.11)
	9	障害者と健全者の交流フェスティバル (1987.10)	・向島駅前駐輪所開所 (1987.5)	・湾岸戦争勃発 (1991.1)
	22	「身体障害者デイサービス」始まる (1993 秋)	・向島ニュータウン 6316 世帯、人口 19276 人 (1990)	・雲仙・普賢岳で火砕流発生 (1991.6)
	28	阪神大震災・被災「障害」児・者支援の会 結成される!! (1995 春)	・向島学生センター開設 (住居棟竣工) (1990.5)	・阪神淡路大震災 (1995.1)
	31	ぼくが調べた向島の歴史 (1995 冬)	・向島ニュータウン 6395 世帯、人口 19391 人 (1995)	・沖縄海兵隊による少女暴行事件 (1995.9)
	32	3 階増設工事終わる! (1996 春)	・向島証明書発行コーナー開設 (1997)	・地下鉄サリン事件 (1995.3)
	45	近鉄向島駅にエレベーターを (1999 夏)	・向島ニュータウン 6170 世帯、人口 16061 人 (2000)	・らい予防法廃止法が可決 (1996.4)
2001年～2006年	54	京都市南部地域に重症心身障がい者の通所施設が誕生 重症心身障がい者通所事業 (B 型)「シサム」(2002 春)	・向島地区交通バリアフリー移動円滑化基本構想 (2004)	・米海軍原子力潜水艦と宇和島水産実習船が衝突 (2001.2)
	55	断固反対! 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律 (2002 夏)	・向島ニュータウン 6259 世帯、人口 15111 人 (2005)	・池田小児童殺傷事件 (2001.6)
	60	今年もしました 2.11 子ども集会「平和に向かってうんとこしょ!」(2004 春)	・「向島駅前まちづくり協議会」結成 (2005.10)	・9・11 同時多発テロ (2001.9)
	66	ようやく、近鉄向島にエレベーターが設置されました! (2006 春)		・米英軍がイラク攻撃開始 (2003.3)
	67	柏木さん、またトックと一緒に食べましょう! (2006 夏)		・JR 福知山線脱線事故 (2005.4)
	68	「障害者自立支援法」本格実施! 緊急座談会! (2006 冬)		・WBC (野球) で日本が初代王者に (2006.3)
2007年～2012年	69	今あらためて「平和」について考える (2007 春)	・『向島駅前まちづくり憲章』制定 (2007.2)	・能登半島沖地震 (2007.3)
	70	沖縄からの問い 今、私たちにできることは… (2007 夏)	・第一回向島駅前「春の祭典」(2008～)	・新潟中越沖地震 (2007.7)
	71	高次脳機能障害とは何か? その取り組みの現状 (2007 冬)	・「向島中央公園愛護協会」発足 (2008.3)	・日本郵政公社が民営 (2007.10)
	72	鶏が先か? 卵が先か? (2008 春)	・向島ニュータウン 5966 世帯、人口 13660 人 (2010)	・房総半島沖で自衛隊イージス間と漁船が衝突 (2008.2)
	73	京都市洛友中学校 夜間部 (二部学級) を知っていますか (2008 夏)	・向島ニュータウン 30 年の歩み「徳川家康の向島城と伏見」(2010.11)	・「リーマン・ブラザーズ」が破綻 (2008.9)
	74	「コーヒーのこど」(2008 冬)	・向島わくわく朝市 (2011.2)	・裁判員制度がスタート (2009.5)
	75	地域で支え合い、助け合う 向島二の丸・二の丸北 安心ネットワーク発足 (2009 春)	・「桜を見る会」東日本大震災避難者と住民の集い (2011.4)	・衆院選で民主党が大勝、政権交代へ (2009.8)
	76	人の死と脳死の「関係性」もう一方の「臓器移植法」討論 (2009 夏)	・向島図書館、朝市 (2011.5)	・日米外務・防衛担当閣僚共同声明で普天間基地の移設先として「辺野古」と明記 (2010.5)
	77	わじわじする～! ～美ら海に基地はいらない～ (2009 冬)	・脱力系フェスタ (2011.5～)	・チリ鉱山落盤事故 (2010.8)
	78	第3回向島駅前「春の祭典」にお集まりください! (2010 春)	・向島ほっこりフェスタ (2011.6～)	・ニュージーランド地震 (2011.2)
	79	児童虐待と地域の補い力 (2010 夏)		・東日本大震災、福島原発事故 (2011.3)
	80	向島を「多文化共生社会」に! ～中国残留邦人帰国者から学ぶ～ (2010 冬)		・障害者虐待防止法成立 (2011.6)
	81	「高齢者の所在不明問題」から考える (2011 春)		・障害者総合支援法成立 (2012.4)
	号外	東日本大震災被災者支援ニュース		・東京スカイツリー開業 (2012.5)
	82	大学の力を、ニュータウンの活性化に活かしたい ～京都文教大学杉本教授に聞く～ (2011 夏)		・第2次安倍政権発足 (2012.12)
	83	「福島は今」～日本基督教団若松栄町教会教会員・会津放射能情報センター代表 片岡輝美さんから～ (2011 冬)		
	84	「3・11」を覚えて (2012 春)		
85	「脳死」臓器移植法の次は尊厳死法 (2012 夏)			
86	「沖縄反戦平和研修に参加しました」(2012 冬)			
2013年～2017年	87	「マイタウンMJ」へようこそ (2013 春)	・「マイタウン向島」オープニングセレモニー (2013.1)	・障害者差別解消法成立 (2013.6)
	88	この国は一体どこに向かっていくのか? ～憲法改悪を許さない!～ (2013 夏)	・MJ ランチクラブ開始 (2013.2)	・2020 年夏季五輪・パラリンピック開催地が東京に決定 (2013.9)
	89	笑顔で暮らせる MJ (2013 冬)	・MJ 東日本大震災メモリアルイベント (2013.3～)	・障害者権利条約批准 (2014.1)
	90	「あれから3年、福島は今…」(2014 春)	・MJ プラレール大会 (2013.5～)	・消費税が8%に (2014.4)
	91	二ノ丸学区社会福祉協議会が誕生! (2014 夏)	・ホテルのタバ (2013.6～)	・広島県北部で大規模土砂災害 (2014.8)
	92	剣をとる者剣にて亡ぶ (聖書) 基地を持つ国は基地にて亡ぶ (歴史) (2014 冬)	・向島アジア・アフリカとびっきり映画祭 (2013.12)	・御岳山噴火 (2014.9)
	93	「ヌチドウタカラ=命こそ宝」(2015 春)	・MJ 将棋囲碁クラブ開始 (2014.1)	・マイナンバー制度がスタート (2015.10)
	94	「平和」について考えるとき (2015 夏)	・向島社会福祉協議会設立記念式典 (2014.7)	・パリ同時テロ (2015.11)
	95	「おこなわれたいっさいの不当なことにたいして、それをおかしたものに罪があるばかりでなく、それをとめなかったものにも罪がある」(2015 冬)	・MJ キッズキッチン開始 (2014.8)	・熊本地震 (2016.4)
	96	戦後70年 2・11「平和について考える日」(2016 春)	・MJ が「きょうと地域力アップ貢献事業者等表彰」を受ける (2015.1)	・相模原市の障害者施設で殺傷事件 (2016.7)
	97	いのちを守る活動～熊本地震での動き～ (2016 夏)		
	98	出会いとのつながり (2016 冬)		
	99	震災から何を学び、どう生きるか! (2017 春)		



# Memory



Thank You

100号の発行を記念して、今号では4人の方々からメッセージを頂戴いたしました。それぞれ、様々なかたちで愛隣館研修センターとの関わりをもっていたいた方です。お忙しい中、ご寄稿いただきましてありがとうございました。

### ひとりボランティアの会 姜貴子さん

私がセンターニュースを読むようになったのは、忘れもしない、2007年の69号。それまでは配布されているのは知っていたけど、読んだことはなかった。運命としかいいようがないくらい、たまたま69号を読んで、なぜか分からないけど、すぐに感想文を送った。

「運命」というのは、息子である耕祐のこと。耕祐は3歳の頃から施設に入所していて、いずれ地域で一緒に暮らしたいと思っていた。69号をきっかけに愛隣館の働きを知り、ハッキリとした目標になった。ちなみに、耕祐との生活は2007年からスタート。もうすぐ10周年になり、耕祐も42歳になった。

耕祐が地域に戻ってくることに「反対」はものすごくあったけど、おかげさまでここまで来た。耕祐も甲子園や一泊旅行に出かけることができ、表情が本当に豊かになった。

向島ニュータウンに限らず、困りごとを抱えている人の構造的な問題に「何とかしたい」と思うことはたくさんある。秋の祭典ではチヂミの売り上げ200枚超えを目指している。今までもそうであったように、これからも「耕祐が私を動かしてくれる」感覚を大事にしたい。

### 重度障害者通所介護じゅらく 所長 久門 誠さん

愛隣館センターニュース100号の発刊を心よりお喜び申し上げます。

センターから届いた郵便物の封を開けると字が詰まった紙面が目に入ります。いつも様々な思いが込められています。その思いに毎回惹きつけられています。それに尽きると思います。

印象に残っている記事ということについて、特にこれといった記事のお名前を挙げるができないのですが、あえて文字にするならば、柏木氏の詩のように当事者の方への思いを中心に据えながら、沖縄や福島、西成といった社会の様々な事象への記事があること、被災地支援や日常の様子などセンターの様々な活動やかかわる職員の方の思いも伝えられていることということになるでしょうか。それらはメディア等の報道などではかき消されがちでありながら、しかし社会の中で伝えられなければならない大切なメッセージです。私達職員は、ただ目の前の人とかかわるということだけではなく、広く社会に関心を持ち、可能な行動をしていかなければならないのだと感じさせられます。こうした思いや行動を大切にされていることに心から敬意を表します。募金やカンパの振込用紙もよく同封していただいておりますが、一度もしておらず大変申し訳ございません。この場を借りてお詫び申し上げます。

そして最後に(ひ)の署名の入った編集後記を忘れることはできません。この小さな欄からあふれるような熱いメッセージを読んでこそ「愛隣館センターニュース」ともいえるようにも感じています。

こうした一つひとつの事が、出会う愛隣館の職員の方々の雰囲気にも感じられることがまたうれしいことでもあります。これからも様々な場面でお世話になることと存じますがどうかよろしくお願ひ申し上げます。

### 京都府リハビリテーション支援センター センター長

### 武澤 信夫さん

向島は、かつて徳川家康の居城があったところで、巨椋池の中に浮かんでいた水城ではなかったかと思えます。

1980年頃、向島の市営住宅に4年間ほど住んでおり、大変懐かしい土地です。その頃は、まだ藤ノ木や横島、近鉄の西側に、田園が広がっていたように思えます。そして、「向島ふうせん文庫」を開設したり、愛隣センターの催しにも色々参加したりした記憶があります。息子達が、愛隣センターでのボランティアや、社会学習をお願いしたりしたこともあります。

最近、向島にある貸し農園で無農薬の野菜作りをしていますので、向島の移り変わりを感じるがあります。

また、愛隣センターには、高次脳機能障害者の相談や、在宅医療を必要とする障害児についての研修会への協力をお願いしています。

最近、特に気になることがあります。発達に問題を抱えている子ども達が10%もいると言われていることです。そして、発達障害児だけでなく、重複障害や重度の障害児が増加している現状があります。しかし、その深刻さが、京都では十分理解されていないように思えます。

向島の小中学校の統廃合の新聞報道が出ていましたが、廃校になった空き地に、大阪や横浜などにあるような障害児のための総合療育センターを建設したらと思います。そして、愛隣センターのこれまでの取り組みをみると、向島には、あらゆる人々が集えるモデル的な共生社会が実現するのではないだろうかと思えます。

### 京都・東九条CANフォーラム代表 朴 実さん

愛隣館と言えば私は真っ先に思い出すのは、今から丁度30年前の1987年6月17日の出来事です。当時私たちは平田義さんや、今は故人となられた柏木正行さんらと「向島差別と人権を考える会」を結成し、近鉄向島駅にエレベーター設置する運動や、学校教育への「日の丸・君が代」強制反対運動などをしていました。当日も愛隣館2階で「差別と人権を考える会」の会議をしていた最中、突然電話が鳴り響き私が呼び出されました。電話の内容は、私が訴えていた「民族名裁判」に勝ったので直ぐに弁護士事務所へ来てほしいという内容でした。そのとき私はしばらく呆然としていましたが、会議に参加していた人たちに向かって「勝った！ やっと民族名を取り戻した！」と告げると、柏木さんと平田さんが喜びの表情で私を送り出してくれました。このときが全国初の「民族名裁判」の勝利の日でした。

愛隣館と言えもう一つ忘れられないのは、柏木さんの市議会・府議会選挙の応援運動です。いまやバリアフリーという言葉が当たり前になり(実現はされていませんが)、「障がい者自立支援法」や「障がい者差別解消法」(実態を伴わない法ですが)車いす生活の柏木さんが向島の市営住宅で自立生活を始められた頃は、介護者は全くのボランティアであり、京阪観月橋へ行くのも、近鉄向島から電車に乗るのも命がけでした。柏木さんの選挙運動を愛隣館や私たちは全面的に応援し、サポート態勢を取りました。残念ながら両選挙とも落選でしたが、それなりに票を獲得し柏木さんの訴えはある程度達せられたと信じます。

内容 愛隣デイサービスセンター

重症心身障がい者通所「シサム」での送迎

資格 運転免許 時給 856円～1000円

休日 木曜・日曜・夏期・年末年始・GW

時間 8:30-18:00の間 1日3時間程度 週2日より時間・曜日相談に応じます

待遇 交通費実費支給(上限20,000円)、自転車・バイク通勤可

### 運転手募集



### 編集後記

センターニュースもついに100号を迎えました。元毎日新聞記者の馬場園慎一さん、恵大一郎さん、現編集担当の辻早苗さんをはじめ、多くの方々のご協力、ご支援があって、100号の発行ができました。ありがとうございました。今後とも、ご感想、ご意見などをお寄せいただければありがたいです。